



2015-2016年度 R. I. テーマ



「篆刻」石崎 巖 会員



- ◆ 会長 木下 茂 ◆ 幹事 宮崎 繁幸
- ◆ 発行 会報委員会 3月担当 関

国際ロータリー 第2610地区富山第一分区 I M

魚津RC・朝日RC・魚津西RC・黒部RC・入善RC・滑川RC・宇奈月RC・黒部中央RC

★開催日：平成28年3月20日(日) ★点 鐘：15時00分

★会 場：ホテルアクア黒部 ★ホスト：黒部中央ロータリークラブ

【セレモニー】 司会進行 下澤 弥生さん

開会点鐘……………ガバナー補佐 平野 明君

国家斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

I M実行委員長挨拶……………実行委員長 長谷川光一君

来賓紹介

来賓祝辞……………黒部市長 堀内 康男様

ガバナー挨拶……………ガバナー柳生 好春君

ガバナー補佐挨拶……………ガバナー補佐 平野 明君

閉会点鐘……………ガバナー補佐 平野 明君

【シンポジウム】

シンポジウムテーマ：

立山・黒部ジオパークを形成する『黒部川の歩み』

開会の挨拶……………ガバナー補佐 平野 明君

シンポジウム概要説明……………実行委員長 長谷川光一君

講 師…国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所長 藤田 士郎氏

講 師…東京海洋大学海洋科学部海洋生物資源学部門 准教授 藤田 大介氏

講 師……………日本黒部学会 会長 国香 正稔氏

総 評……………2610地区パストガバナー 中尾 哲雄君



創立1968年（昭和43年）5月27日〔第2610地区内創立順位19〕

例 会：火曜日 12:30 於. にかわ信用金庫本店5 F TEL(0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL(0765) 22-0715

【懇親会】

三日市保育園児によるウォー太郎音頭・煌合唱
開会の言葉……………ホストクラブ会長 森田 俊雄君
乾杯……………パストガバナー 近藤 俊行君
アトラクション・歓談
ロータリーソング「手に手つないで」
閉会の挨拶…次期富山第一分区ガバナー補佐
魚津ロータリークラブ 野澤 良成君



第2350回例会 3月22日(火)

- ◆ 点 鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ ロータリーソング 「我等の生業」

ハッピーバースデー



3月25日
小 林 君

◆ 会長挨拶

一昨日、富山第一分区 I M が黒部中央ロータリークラブのホストで行われました。
当クラブからも多数の参加があり、セレモニーの後、シンポジウムは「黒部川の営み」をテーマに国交省黒部河川事務所長・東京海洋大学准教授・魚津高校校長を講師に地元に着した内容のある講話でした。
さて北陸新幹線は、開業1年が過ぎました。

富山は、最短2時間8分で東京と結ばれ交流人口は大幅に拡大、乗客は在来線特急時の3倍に上り、観光や経済など幅広い分野で波及効果が表れました。

地元魚津は通勤通学だけの利用となり、関西への人の流れは細りつつあるとの指摘が出てきました。

経済面でも大学進学動向も20%減で関西離れが進み、大阪までの早期開業を求める声が高まっていますが、国が最終ルートを決める時期さえ見えていません。

全日空の富山ー羽田便は前年に比べ乗客が4割、収入は6割落ち込んで27日から2往復減便です。

「ほくほく線」を運営する北越特急は、3月期決算は営業赤字で運賃収入は、前期の1割だそうです。

3月26日には、新ダイヤ改正があり、北海道新幹線も開業します。想定乗車率は26%と低く、新幹線事業は当面年間50億の赤字だそうです。

在来線は百円を稼ぐのに千円以上かかる路線がいくつもあり、JR北海道は自助努力にも限界がある様な気がします。

北陸新幹線は、真価を問われ2年目に入りました。

◆ 出席報告 (鈴木委員長)

- ・出席率 会員30名中(出席除者2名) 20名 71.42%
- ・欠席者 畠山君、石崎君、久津谷君、三浦君、南君、宮田さん、扇谷君、吉野さんの諸君
- ・前々回(2348回)の修正
原君、小林君、牧野君 78.57%→89.28%

◆ 幹事報告

- 国際ロータリー日本事務局より
 - ・3月はロータリーの「水と衛生月間」
- ロータリー米山記念奨学会より
 - ・ハイライトよねやま192
- 国際ロータリー第2610地区ガバナーより
 - ・台湾南部地震 お見舞金ご協力へのお礼及びご報告
- 2016-2017年度 地区研修・協議会実行委員会より
 - ・2016-2017年度 地区研修・協議会について

☆ 3月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
3/29(火)	卓話担当：会長エレクトPETS報告	信金5階

★ 3月のSAA補助

三浦君・関君の諸君です。よろしくお願ひします。

◆ ニコニコボックス

- ・佐々木祐司君：ポケットマネーで高級車のタクシーを買いました。たくさん新聞にとりあげていただきありがとうございます。

今週末までの合計額 468,500円

◆卓話「儲かる飲食店経営のお話」



森 國 光 君

今から45年前、27歳の独身で全く調理経験なし、しかも、魚津生まれでない者が無謀な行動を起こし、想像どおりに1年も経たないうちに資金繰りが苦しくなるといふ、いまの自分ならば馬鹿野郎！の一言である。大家さんに頭を下げ、敷金の一部を返して貰い資金繰りをするという全く恥知らずな男でした。1年後に人件費削減の為に？結婚し、6畳と3畳の台所からのスタートで、妻は“いつでも横浜の実家へ帰るための自動車賃だけ”は、隠し持っていたと言う。

45年が過ぎ、地元には無くてはならない店と慕われるまでになった店ですが、これから先どんな形でお客様に伝えて行けばいいのか、まだまだ、楽しい挑戦が待っています。

外食が外食産業と言われる様になったのが、1970年に入った頃で、丁度時代は「高度経済成長期」と言われ、店を出せば繁盛し、「チェーンストア理論」を取り入れた大手チェーンが急速に規模を拡大しました。1970年ケンタッキーフライドチキン・すかいらーく・ロイヤルホスト、71年マクドナルド・ミスタードーナツ、73年吉野家がF C出店し、80年代には、フランチャイズ形式の大手居酒屋が登場しています。

90年～2000年頃は、バブルが崩壊し大手チェーンが地価・家賃が安い地方へ進出し、またこの頃には、スターバックスなどコーヒーチェーンも進出。

2000年～2008年は「失われた10年」から「ITバブル」と言われた時代で、珍しい業態が繁盛し新興飲食企業が、雰囲気、サービス、テーマに工夫を重ねて、集客に成功しています。

また、時代の出来事にも影響をうけ、BSE（牛肉）・鳥インフルエンザが流行りまた、飲酒運転事故による取り締まり強化などの影響が売上減につながる。そんな中で、マックの80円バーガーなど低価格競争の時代に突入。

2008年から飲食店同士の競争が激化し、出店退転が相次ぎ「再生ビジネス」流行により小資本での出店がさらに競争を加速させています。

大手によるM&Aにより、業界最大手のゼンショーグループはM&Aに依るあらゆる業種、業態の店舗展開に挑み、業界最大大手に成長しています。

誰かが作り上げた成功パッケージ、倒産寸前の企業を集めて規模による価格競争に参入、お互いの適正価格でないところの競争は、自らを苦しめお客様を裏切ることになる。

私たちは、より多くの人々に、より良い商品をより安く、より良い環境の中でお届けし続けるよう努力します。

私たちは、日常の仕事に改善の意欲を失わず、創造開拓を行い、時代の変化に対応した目標への挑戦を続けます。

私たちは、お客様との、「喜びの取引」から生まれた適正利潤で安定した生活を営めることに感謝します。

第2351回例会 3月29日(火)

- ◆点 鐘 木下 茂 会長
- ◆司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」

◆会長挨拶

春本番を迎え、スポーツの世界も多彩な競技でにぎわっています。

ゴルフ好きの方々も、じっとしてられないこの頃かと思えます。大相撲春場所は、白鵬の36回目の優勝で史上最多記録更新となりました。

先場所、10年ぶりの日本人力士の優勝があり、白鵬の初日黒星で流れが変わるかの予想もありましたが、例年と同じ大阪場所でした。県内出身の力士にも期待しましょう。

高校野球は、ベスト4が出そろい、明日は決勝戦です。

プロ野球が開幕しましたが、試合前オーナーが「野球賭博問題や選手間の不健全なお金のやり取りなど、重大な不祥事をわびる」異例の開幕セレモニーでスタートしました。

清原の問題や、ロシアの水泳やレスリングの組織的な薬物服用、女子テニスのトップ選手マリア・シャラポワのドーピング違反など、浄化を急がないとスポーツ界の不信感がぬぐえそうにありません。懸命に夢を求める若者達の為にも正しいあり方が求められています。

◆出席報告（鈴木委員長）

- ・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 23名 82.14%
- ・欠席者 畠山君、石崎君、小林君、宮田さん、富川君の諸君
- ・前々回(2349回)の修正 慶野君、宮崎君、窪田さん、森君 57.14%→71.42%

◆幹事報告

- ロータリー文庫運営委員会より
 - ・文庫通信(343号)
- 国際ロータリー第2610地区より
 - ・書損じはがき収集のお礼とご報告
- 財務省北陸財務局富山事務所より
 - ・例会等への講師派遣について(お願い)

- 黒部中央ロータリークラブより
 - ・国際ロータリー第2610地区富山第一分区 I M参加の御礼
- ガバナー事務所より
 - ・国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス（募金趣意）

☆4月度例会案内

	活動内容	例会場
4/5(火)	卓話担当：鈴木君 理事会	信金5階
4/12(火)	卓話担当：地区協議会報告 Rの友・情報紹介	信金5階
4/19(火)	夜間例会	喜 楽
4/26(火)	卓話担当：南君	信金5階

★4月のSAA補助

扇谷君・加納さんの諸君です。よろしくお祈りします。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 468,500円

◆卓話「会長エレクトPETS報告」



三 浦 茂 君

3月13日ホテルニューオオタニ高岡で、会長エレクト研修セミナーがありました。

当クラブからは、地区国際青少年交換委員会委員長の慶野さんも出席されていました。

今、お見せしている映像を見ながらセミナーが進行していく中、ロータリー財団100年記念の話が出てきました。財団への年次寄付100ドル/人とあわせて100周年記念寄付のお願いがありました。

地区運営方針で、改めてロータリーの目的を思い直すきっかけになりました。

ロータリーを伝えやすい表現の「ロータリーとは 自分を磨き、人を育て、時には慈善行為、ボランティア活動を行う世界的な団体です。」という言葉が、心に残りました。

例会での卓話担当だけでも、自分を磨く良いきっかけになっていると思います。

「会長エレクトにお願い 2 心に残るロータリーの体験発表」をすることによりロータリーに対する意識が変わってくると思いました。

過去に吉田さんが、留学生を訪ねて旅行した卓話をされましたが、そのような話を聴くと受入れ先のモチベー

ションもあがり、充実した時間がすごせるのではないかと思います。

既成概念の崩壊ということで、「ロータリーは、職業奉仕を基盤に人格の向上を学ぶ組織 ではない→である。

単なる・寄付団体・社交団体・ボランティア団体 である→ではない。」に変わってきています。

変革している世の中で、ロータリークラブの存在意義やあり方を考えるきっかけになりました。

ロータリー財団・米山記念奨学会では、100周年記念寄付が新たに出てきた内容でした。

広報に関しては、常に情報発信しなくては、いけないと感じさせられました。

セミナーに参加した感想としまして、新入会員のときに聞いていれば、もっと違った自分が居るのではないかと思います。

前日、急用で神戸を車で日帰りしたので、眠かったのですが、周りがプロジェクトの画面をパシャパシャとスマホで撮り始めたので、居眠りすることなくセミナーを受け終えました。

